



だいじょうぶ。ともにあるこう。 (2010. 10. 2)

野村 のむら ようこ 羊子

三鷹市議会議員 (会派 にじ色のつばさ) 議会報告no.36

■2010年9月議会報告

◆野村羊子の一般質問 1 「市民の命を育み守るまちづくり」

(1)子どもの命を育む学校給食・保育園給食 ア 食の文化を守る米飯などの伝統的献立

今の学校/保育園給食に求められている役割は食育であり、伝統的な和食の食文化継承。一汁一菜、白いご飯に汁物とおかず、タンパク質の主菜に野菜の副菜、という和食、家庭の普通の食事をしっかりと提供し、習慣化させる献立。多様な食があふれている今だからこそ、学校・保育園において週5日の完全米飯給食を実施することが求められている。

イ 子どもの健康をつくる食材選定

栄養職員が研究し加工食品は厳密な食材選定をしているが、野菜については、有機・無農薬にこだわりきれてはいない。更なる工夫はできないか。

≫ 答弁(教育部長)：学校給食は限られた食材費で、安全で栄養バランスのとれた献立に努力。いろいろな食体験も必要。旬の減農薬野菜、近隣農家との連携に努力する。

≫ 答弁(子ども政策部長)：保育園は栄養士部会が活発に活動。多様な食材の経験させる。小回りのきく利点を生かしたい。

解説・・・献立現状維持の答弁は残念。週5日 ご飯給食でも多様な食材による献立は可能。食材は市内の協力農家が直接納品してはいるが、限定的。有機無農薬あるいは低農薬にもっとこだわることが可能なはず。先行自治体のシステムを学び実現に向け努力してほしい。

■文教委員会；「大沢の里水車経営農家条例」

条例新設は、文化財として補助金で「動態保存(動かして見せる)」のための整備をし、見学を有料とするために。今までの市民ボランティアはそのまま解説員として奉仕。(株)まちづくり三鷹に管理を委託、はたるの里が実務を担う。教育委員会が運営責任をもつ。全員賛成で可決。本会議でも全会一致。

(2)命を守る自殺予防対策について ア 自殺の現状について

三鷹市では、自殺者数は2008年度は33名。東京都と同じ傾向なのか、三鷹市独自の状況があるのか。自殺の実態について、現状をどう把握しているのか伺う。東京都はゲートキーパー養成講座を実施。市民に相対する職員全てが受講すべきだと思うが、どのような取組みを行っているか。

イ 自殺対策は生きる支援

国は3月に「自殺予防対策強化月間」を実施し、自殺者数の前年度比減を達成。9月実施予定の自殺予防週間について、市は何をどのようにする予定か。

≫ 答弁(市長)；自殺には様々な複雑な要因があるが、基本的人権・個人の尊厳・自己肯定感を育むことが重要。自殺対策とうたっていないが、地域ケアネットなど様々な取組みの中にあるセーフティネット強化が予防対策。関係機関と連携強化して体制づくりを強化し、人の命を大切にする市政を行う。

解説・・・市長の答弁は、理念としては本質的なことをきちっと押さえてあり、評価したい。しかし、施策にそれがどう反映しているのかわからない。実際には、保健師をゲートキーパー指導者養成講座に派遣し、市報の一隅にお知らせがあるのみ。保健師がゲートキーパー知識をどう幅広い職員に広めるのか、具体的な場の設定が必要。市民向けの相談窓口案内やゲートキーパー普及啓発のパンフレット配布など、目に見える「自殺予防対策」を市が実施している姿を見せてほしい。

■東京外郭環状道路調査対策特別委員会

8月25日提出の6区市長の国公大臣宛要望書、計画地域の境界線確定についての行政報告。新聞報道された用地買収の説明と資料請求も求める。3件の用地買収の詳細は回答不可。境界線確定の詳細地図も閲覧のみでコピーは不可との回答。武蔵野と練馬での「外環ノ2の話し合い」情報も不十分

◆2009年一般会計決算認定に反対

◎反対の理由1) 住基カードを認証キーとして住民票と印鑑証明書をコンビニ交付するシステム新設し、住基カードを無償交付。財源は国税だが、巨額の設備投資と今後の維持管理費の有効性に疑問。3ヶ月間のカード無償交付のため地域活性化・経済危機対策臨時交付金で臨時職員を雇う。本当の地域の活性化になったのか疑問。

◎2) 家庭系ごみ有料化。経済不況のさ中、市民負担を増やすことに疑問。分別でごみ減量の目標は達成済だった。有料化の結果、約2億3千万円増収。8万世帯で割れば半年で平均3000円弱の負担増。

◎3) 学校の地デジ化でテレビ買換え・電子黒板購入93百万円と、学校ホームページ更新のためCMSシステム導入18百万円、合わせて1億1千万円余。うち1億円余が国税。今必要な設備投資か疑問。教職員増や教室へのクーラー設置の方が逼迫では？

◎4) 臨時対策債借り増し6億円。翌年度の税収減を補うため借入枠の限度一杯まで借り増し、8億円を財政調製基金に積立。結果的に09年度は3億円弱の税収減。一方、学校建設費が見込みより8億5千万円低く、年度内のやりくりは可能だった。将来の収入が減るから可能な今のうちに借金することに疑問。赤字借金の返済のツケは誰に？

◆国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計各決算認定に反対。その他4つの特別会計決算認定に賛成。今回の決算特別委員は嶋崎議員が担当。

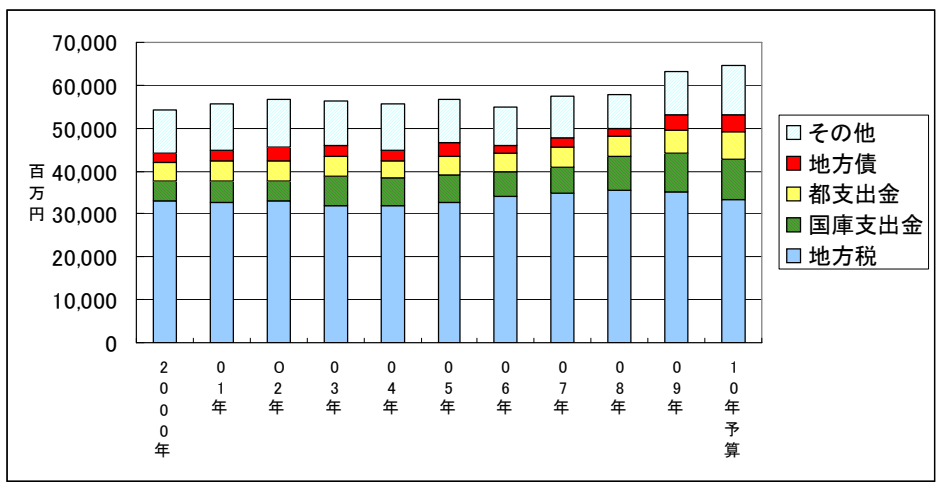
■三鷹市の財政、どうなっているの？

グラフは三鷹市の収入(歳入)

内訳。市税収入が減る中、08・09年度は定額給付金、10年度は子ども手当等があり、国庫支出金が増大。09・10年度は臨時財政対策債各21億借りるため地方債も増。600億を超えた。

三鷹市は、国が決めた必要経費を自前の収入で賄えるとされる地方交付税不交付団体。10年度不交付団体は、半減して全国で23区を除き75団体。三鷹市は全国で上位5%に入る裕福な自治体といえる。

本来、市債(借金)は建物や道路などのインフラ整備の際、使用する後年度の市民も負担するという後年度負担が基本。臨時財政対策債は必要経費不足分を補うため。09年度当初は東台小仮設校舎のためと説明。補正から収入減のため。本来返済は交付税で国が負担。三鷹市は市民のツケ? 将来他の経費を削って返済の可能性もあり。



◆「都市型産業誘致条例」に反対

まちづくり環境委員会に付託されたが、にじ色のつばさから委員が出ていないため、本会議場において委員長報告について委員長に質疑、討論の上反対。シャープの亀山工場の5年目での一部撤退の例を引く質疑・討論は半田議員が担当。

◆「三鷹市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償条例の一部を改正する条例(案)」否決

にじ色のつばさが議員提案していた議員報酬の1%削減(人事院勧告に倣う)の条例改正案は、賛成7(共産党、にじ色のつばさ): 反対18(政新=自民党、公明党、民主党)で否決された。増額だけ倣うのは議員特権。

◆共産党が提出した賞与の基礎額への特別職加算(月額報酬×1.2)を削除する議員報酬条例改正案は自公が反対、11:14で否決。削除額相当分を増額するために共産党が同時提出した「三鷹市小中学校児童生徒就学援助条例」は、自公民の反対で7:18で否決。

◆議員提案意見書8件、請願3件。「無認可保育施設利用者への助成金支給を求める請願」は厚生委員会に付託審議。嶋崎議員が賛成討論するも否決。「『地デジ難民』を生まないための抜本的支援を求める意見書」や請願「子宮頸がんワクチン接種の助成制度創設を求めることについて」等意見書3件、請願2件に対して野村討論。詳細は三鷹市議会HP参照。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会No.36

〒181-0013 三鷹市下連雀3-30-12-104

Tel&Fax:0422-72-2425

E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net

Url: http://www.nomura-yoko.net

いっしょの会 年会費 1000円

郵便振替口座 00160-2-335606

